

令和8年度

運営に関する計画

大阪市立川北小学校

令和8年 4月

大阪市立川北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

I 学校運営の中期目標

現状と課題

安心・安全面では、学校のきまり・学校安心ルールを運用し、基本的な生活習慣の確立、規範意識の育成や仲間づくりを通して、望ましい児童集団づくりをすすめる。また、児童の自尊感情の醸成を促す指導をすすめていく必要がある。

子どもの学力面では、「主体的・対話的で深い学びの推進」に向け、教職員の共通理解や一体となった指導体制のもと、子どもの学びの環境を整えていく。また、基礎学力の定着に課題のある児童や家庭環境の複雑さに起因する生活指導面に課題のある児童が複数在籍しており、基礎学力の定着、家庭と連携した生活指導の充実が不可欠である。そのため、児童にとってわかりやすい授業づくり、児童の自主学習習慣づくり・家庭学習習慣づくり等に取り組み、授業形式では、専科教員を学年付きに組み込んだチーム担任制を実施し、全学年を対象とした専科指導を進めていく。

体育・健康面では、児童の「運動」に取り組む意識が少しずつ高まってきている。児童の体力づくりや「運動」に取り組む意欲のさらなる向上を図るために、運動するための環境整備をすすめ、感染症対策や食育をはじめ、児童が自主的に健康管理及び規則正しい生活習慣を身につけることができるように、取組をすすめる必要がある。

学びを支える教育環境について、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進を進めており、ルールを守った学習者用端末の活用をすすめていく必要がある。また、教職員の時間外勤務時間は年々削減されており、さらなる働き方改革をすすめていく必要がある。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和11年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。
- 令和11年度の全国学力・学習状況調査の「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和11年度の小学校学力経年調査・校内調査の「自分には、よいところがありますか」の項目について、肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。
- 令和11年度の小学校学力経年調査・校内調査の「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか」の項目について、肯定的回答をする保護者の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和11年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率3割以下の児童を、令和7年度より0.4ポイント減少させる。
- 令和11年度の小学校学力経年調査の平均正答率(平均点)3割以下の児童を、いずれの学年も令和7年度より0.4ポイント減少させる。
- 令和11年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比の割合を令和7年度より0.04ポイント向上させる。

- 規則正しい生活を身に付けている児童の割合（小学校学力経年調査・校内調査における「規則正しい生活」（「朝食を毎日食べること」「毎日同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して肯定的な回答をする児童の割合）を令和11年度調査において、90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和11年度小学校学力経年調査・校内調査の「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」の項目について、週3回以上と回答をする児童の割合を70%以上にする。
- 令和11年度小学校学力経年調査・校内調査の「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意したりしていますか」に対して肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 令和11年度の教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を、月17時間以下とする。
- 令和11年度小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、70%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- 令和8年度小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的回答をする児童の割合を78%以上にする。
- 令和8年度小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあるとおもいますか」に対して肯定的な「思う」と回答する児童の割合を75%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和8年度小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 令和8年度小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、肯定的回答する児童の割合を83%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和8年度小学校学力経年調査・校内調査の「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」の項目について、週3回以上と回答をする児童の割合60%以上にする。
- 令和8年度の教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を、月20時間以下とする。

3 本年度の自己評価結果の総括（中期目標の総括も含む）

--

大阪府立 川北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 ○ 令和8年度小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的回答をする児童の割合を78%以上にする。 ○ 令和8年度小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあるとおもいますか」に対して肯定的な「思う」と回答する児童の割合を75%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ・いじめアンケートを毎学期1回は必ず実施し、いじめの実態把握、いじめについて考える日の取り組みを通して、いじめを許さず、お互いの尊厳を高めあう集団づくりにつとめる。 ・すべての児童にとって、学びやすく、安全・安心な校内環境、教育環境づくりに努める。	
指標 ・校内アンケートで「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的回答をする児童の割合を86%以上にする。(R7 2学期:85.1%) ・毎学期必ずいじめアンケートを実施し、聞き取りも行う。 ・「いじめ(命)について考える日」の取り組みで、各学年の実態に即した内容を精選して取り組む。 ・日常的に、教職員による校内の安全点検・衛生管理等を実施する。	
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 ・あいさつ、きまりや時間を守ること、清掃の大切さを理解させる。 ・なかまづくりを通して、児童の自尊感情の醸成や思いやりの心を育てる。 ・互いの違いを認め合い、自他を尊重する態度を育成する。	
指標 ・「学校のきまり」「学校安心ルール」を教室に掲示し、いつも意識できるようにする。 ・児童会を中心に「あいさつ運動」(各学期1回)を実施し、チェックカードによる振り返りを行う。 ・「よいところさがし週間」(各学期1回)を実施し、チェックカードによる振り返りを行う。 ・異学年交流を楽しめるよう集会活動等を実施する。 ・子どもの人権にかかわる体験授業、多文化理解等につながる体験的活動(全学年:年1回)を実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立川北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○ 令和8年度の小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 ○ 令和8年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を83%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容③ 【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・算数を研究教科とし、すべての教員が、校内研究を通して指導力向上を図る。 ・学習意欲の原動力となる「心」への教育刺激として、遠足、社会見学、体験学習等を実施する。	
指標 ・教員の研究授業、公開授業等を1人1回、年間20回以上実施する。 ・教育指導員等を指導要請し、研究授業(年6回)・研究討議会を実施する。 ・遠足、社会見学、体験学習等(全学年:年1回以上)を実施する。	
取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ・感染症対策をはじめ、児童の自主的な健康管理・衛生習慣(手洗い等)及び規則正しい生活習慣を育てる。 ・食物アレルギー対応を含め、食育の推進に努める。 ・体育的行事の充実を図り、児童が運動に親しむ機会を設けることで、児童の体力向上に取り組む。	
指標 ・すべての児童に、感染症対策(ていねいな手洗い、アルコール消毒など)を徹底し、「手洗い週間」(各学期1回)を実施する。 ・「食物アレルギー対応」「救急救命」「熱中症対策」等の教職員研修(年1回)を実施する。 ・「保健だより」、「給食だより」(月1回)を発行し、家庭(保護者)への啓発をすすめる。 ・「なわとび週間」「かけあしタイム」等、体育的行事を実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立川北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ○ 令和8年度の小学校学力経年調査・校内調査の「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」の項目について、週3回以上と回答をする児童の割合を60%以上にする ○ 令和8年度の教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を、月20時間以下とする。	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容⑤【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 ・授業におけるICT機器（電子黒板、タブレット等）の積極的な活用に努めるとともに、オンライン学習等の推進に取り組む。	
指標 ・各学級、学習室等で、ICT機器（電子黒板・タブレット等）を活用した学習活動等を（週3回以上）実施する。	
取組内容⑥【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・教職員の働き方改革を推進し、しなやかな組織づくりに努める。	
指標 ・日々の最終退勤時刻を18時30分（5時間授業日は18時、4時間授業日は17時）に設定し、教職員に周知することで、教職員の時間外勤務縮減への意識の向上を図る。 ・会議の精選等をすすめるとともに、週1日ゆとりの日（5時半退勤日）を設定する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	